

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	地域とのさまざまな機会、ふれあいを多くとり、その人らしく安心して穏やかに暮らせる様、サービス、ケアの意義を、職員全員で確認し理念においている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	職員が確認しやすい場所に、運営理念を掲示し認識してもらっている朝、昼、夕の申し送り時に理念を唱和し確認をしている		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	家族等の訪問時に目が入りやすい玄関入り口、フロアー入り口に運営理念を掲示している 入居相談や、地域の方の来訪時には、パンフレットを渡し、理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	散歩時に積極的に挨拶、会話を交わし、ホームへ気軽に立ち寄ってもらえるよう日常的に行っている 時折ホーム敷地内に来られ、利用者との会話も楽しんでいる		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	近隣の小学生生徒、保育園児、ボランティアの方が来られ、利用者と共にレクリエーション等を行い、地元の人々との交流に努めている		今後、自治会のお茶会に参加予定

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	2ヵ月に1回推進会議を開き、地域の代表の方にも出席してもらい、話し合いを持っている 人材育成の貢献として、実習生の受け入れも行っている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の意義を伝え理解し、改善していく為にスタッフ間で話し合い取り組んでいる 自己評価、外部評価を、家族等が、確認しやすい場に閲覧している		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告や情報交換もしているが、意見交換、質問も長い時間をとり、検討、改善事項があれば、向上するようつとめている その経過を報告し意見をもらうようにしている		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームで、おきた事故を報告している 嘔吐、下痢等感染症に疑わしい症状がでた場合は、病院での検査を行い、その結果を報告し、意見を頂いている		勉強会など、話す機会を作り、職員、入居者との交流もはかっていきたい ケアサービス、問題点を行政の職員と積極的に話し合いをしていきたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在学ぶ機会を作れていない		地域福祉権利擁護事業、成年後見制度の理解を今後深める機会を作っていきたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法を閲覧している 会議、カンファでは、虐待について話し合いを行い、虐待のないように注意をはらい理解、防止に努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約、解約共に、話し合いの時間を多くとり、丁寧に説明し同意、理解を得るように行っている</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員を月1回派遣してもらい入居者の相談にのってもらっている 意見を聞き、運営に反映させている</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、担当スタッフより家族宛に現在の状況をお便りにし報告し、別に電話、メールなどでも様子を伝えている 金銭管理は、出納伝票に記入し、サインをもらっている</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族には、手紙、訪問の際、なんでも言える環境づくりをしている 苦情、意見があった場合は、職員で話し合いその内容に誠意をもち対応している 意見、苦情箱も設置している</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回ユニット会議にて職員の意見、提案を聞き話し合っている 日ごろから、意識しコミュニケーションを多くとることを、心がけている</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>病院の通院など利用者、家族の状況、状態を考え柔軟な対応ができるようにしている 利用者が安心して生活ができるよう、勤務の調整、ローテーションを図っている</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職を最小限に抑えるよう、コミュニケーションを多くとっている 基本的に、職員を各フロアに固定しているが、移動の際には利用者に影響がでることのないよう考え配慮している</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修、リーダー研修、管理者研修を段階に応じて働きかけている 研修後は、研修報告書を書いてもらっている		外部の研修を多く取り入れ参加しやすい体制を作っていきたい
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会研修へ参加することもあるが、数多く参加は出来ていない		サービスの質を向上する為に、外部のネットワーク作りや、研修を数多く参加出来るようにしたい
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス、悩みを軽減する為に、相談場を提供し、日々のコミュニケーションを多くとり、人間関係、悩みの把握に努めている		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	向上心を持って頂けるよう声掛け、話し合いをするよう努めている 資格取得に向け、勤務の調整、外部の研修など、行けるよう努めている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前の面談では、生活状況、不安、求めることを聞き入れ、家族本人と話し合いをし把握するよう努めている その情報を、職員同士話し合い、受け止める努力をしている		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前に求めている要望等を理解し受け止め、今後どのような対応がふさわしいか話し合いの場を多く作っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談、面談の際に本人の状態を把握し家族との信頼関係を築き、他事業所の支援が必要であれば柔軟な対応、支援を求めるよう努めている</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居、サービスを利用する前から、可能な限り家族、本人にホーム内を見学してもらい雰囲気を覚えてもらう 後再度話し合いの場を作り、対応している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活の中で役割分担を決め、個々の居場所を作り、自主的に出来る環境作りをしている 共同生活として、共感し、支えあう関係作りが出来ている</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者の日々の様子を、職員の思いも共に、家族に伝えることで、信頼関係が生まれ共感し一緒に本人の支えていく関係が出来ている</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>心身の状態、生活状況を把握しながら、外出、外食を家族と共に過ごしてもらうよう関係を築いている</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>お墓参りや、初詣に毎年行く利用者もあり、これまでに大切にしていた環境を尊重している</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者の個々の日々変化する状況を把握し、穏やかに生活出来る時間を、提供できるように努めている 職員が間に入り、調整役となる時もあり、多くの会話をもつようにしている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者が退所時に、家族、本人に気軽に遊びに来ていただけるよう声掛けを行っている		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、表情、言動、行動をよく観察し、把握確認をとるようにしている 困難な場合は、家族と話し合い、希望を得るようにしている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前、ホームでの話し合い又は、自宅へ訪問し、本人、家族等からこれまでの生活歴、生活環境を聞き、これからのサービス内容の確認、把握に努めている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々変化する、心身状態、生活環境を介護記録、個人記録に記入し職員共に共有し総合的な把握が出来るようにしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアの方針について家族の意見、要望を聞き入れ対応している 訪問が難しい家族には、郵送や、電話のみで確認をとっている家族もいる		定期的カンファレンス、モニタリングが出来ないこともあり、行った際も記録に残せていない時もあるので、今後は体制を整え実践できるように努めていきたい
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態が変化した場合は、家族に連絡話し合いをし、新しいケア、サービスを行っている		家族への話し合いは、電話連絡が多いため、今後家族との、話し合いの場を、提供していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、体調等を、個別記録に記入し、情報を共有している ケアカンファ、会議の際、状況の変化に応じながら、情報の共有をし検討しながら見直しを行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況にあわせ、通院や送迎等、臨機応変に対応している 安定した環境が、維持されるよう柔軟な支援をしている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署立会いの消防訓練、民生員、近隣小学校生徒の訪問、ボランティアとの話し合いの場を作り、利用者が安心して地域で暮らしていけるよう意見交換を設けている		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	月1回派遣されている、調査員の方より、情報提供をしてもらい話し合う機会を作っている		地域の事業所へホーム、入居者の状況の報告や話し合いの場を作る
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括センターの職員が参加され、報告、意見交換等をし、協力関係を築いている		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、家族、本人の要望、希望に応じて以前からのかかりつけの主治医に診てもらっている 受診や通院は家族同行となっているが、状況等によっては、ホームで対応している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医、主治医等、治療法方、認知症について相談をし支持、助言をもらっている		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回の訪問看護師が来られ、健康管理、医療面での相談、助言をもらっている 看護師、職員との連絡、連携も密にとれる関係、体制が出来ている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院後、主治医、ケースワーカー等と、話す機会を多くとり、家族と共に情報の共有をし、回復状況等をみながら、退院支援に結び付けている		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化する可能性、重度化した場合においても、利用者の変化、状態にあわせ、その都度、家族、主治医、看護師を交え話し合いを行っている		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の状態を観察し、家族、主治医との連携をこまめにとり、家族、本人の意思、意向をもとに検討、準備を行っている		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族との話し合いをこまめにとり、他の事業所に移られた場合も、生活、支援情報等を提供し、安心して暮らせて頂けるよう努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>言葉使いや、介助の方法について、会議の際、話し合いを常に持ち入居者のプライバシー、尊厳を守るよう意識、実践出来るよう徹底し対応している</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>意思表示が困難な方には、非言語コミュニケーション、カードを使用し自分で決めれるよう選択場面を作っている 個々に合わせた声掛け、個別性のある支援を行っている</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の体調に配慮しながら、希望にそって個別性の支援、本人の希望、気持ちを尊重している 本人のペースに合わせ対応している</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>月1回の訪問カット 他に家族と共に馴染みの理容美院に行きカットしている方もおります</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ホーム敷地内の畑から利用者と共に野菜等を収穫し食材として使用している 1人1人の持っている力を活かしながら、職員と共に配膳、下膳を行いテーブル拭きも手伝って頂いている</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>利用者1人1人の好みを理解し、本人の体調をみながら、おやつ、飲み物、時間を配慮し楽しんで頂けるよう支援している</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄リズムを把握しチェック表、個人記録に記録している声掛けにより、本人の意思を確認後誘導、トイレでの排泄を出来るよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>家族、利用者の希望を取り入れ、その日の体調をみながら、声掛け本人の意思を確認、自己決定が出来るよう入浴して頂いている</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>その日の体調をみながら、個々の生活パターンに合わせて日中なるべく活動を促し生活リズムを整えるよう努めている安眠してもらうよう、その人のリズムが安定するよ支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴、本人が何が出来るかを理解し、役割を持ってもらっている 利用者の経験による知恵、知識を職員が聞き入れ感謝の気持ちを伝えている</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族と相談し、個々に支援を行っている</p>		<p>状態により金銭管理が難しい方でも、所持して頂けるよう家族と話し合い検討していきたい</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者、職員の状況を考え、可能な限り個々の希望にそって支援している 個々での対応が難しい場合、ユニットでの外出が主になっている現状もある</p>		<p>個々に対応できるよう、体制を整えていきたい</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>季節ごとのドライブ 普段から家族と、本人の状況等の話し合いをし家族との外出機会を多く保てるよう支援している</p>		<p>家族と外出が難しい方でも、家族、職員で個別に出かけられる支援、体制を作っていきたい</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人で携帯を持っている方がおり、自由に使用してもらっている ホームから家族へ電話する方もおり、自由に連絡がとれるよう雰囲気作りを行い、支援している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時、帰所時等、挨拶、会話を多くとり、また来ていただけるよう感謝の言葉をかけ、雰囲気作りをしている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、職員ともに常に話し合いを行っている 身体拘束マニュアルも閲覧し認識してもらい身体拘束のないケアに取り組んでいる		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室については、施錠していないが、玄関、フロアー入り口は開錠できていない		ホーム全家族の同意を得よう再度話し合い、開錠出来るよう検討していきたい
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	フロアーには、必ずスタッフがおり全体が確認しやすい場所に待機し、入居者の安全を配慮しながら行動を把握している 夜間帯は、こまめに巡視を行っている		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	家族、職員共に話し合い、個々の状態に合った、取り組み支援を行っている		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各マニュアルが掲示され、会議の際にも話し合いをし、認識し事故防止に取り組んでいる 事故が起きた場合は、報告書を書き、今後同じような事故が起きないように話し合いをしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	対応マニュアルを掲示し、確認してもらう他に、こういった急変、事故が起きた場合の対応法など、看護師に相談、助言を受けている		応急、急変対応、蘇生術を、消防署の協力を得ながら、体験、研修を受けられる体制を整えていきたい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを掲示し、年2回利用者、職員と共に、避難訓練を行っている 他に、避難訓練、消火器の使用法など消防署の協力を得ながら体験をしている		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者の状態に合わせ、制圧感のない暮らしを大切にしている 起きえる事故、リスクに置いても、蜜に連絡をとり、話し合い、説明している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、バイタルチェックを行い、記録に残し、情報を共有している 心身の体調や、表情の変化も見逃さないように早期発見に努めている		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個々にファイルにとじ、内容確認、把握出来るようしている 薬の変更がある時は、その都度説明し、主治医との連携をとれるようしている 服用マニュアルも掲示し、職員同士の確認、服用するまで、見守りをしている		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々の排便の把握、チェックをし、主治医との連携 なるべく自然排便が出来るよう、水分、適度な運動で改善するよう努めている		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の状態を把握し、毎食後、口腔ケアの声掛け、見守り、セットし口腔衛生に努めている 就寝前には、義歯の洗浄を行っている 利用者によっては、訪問歯科を利用し、口腔状態の確認を行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に適した、食事形態を提供、食事量、水分摂取量をチェックし、職員との情報を共有している 状態によっては主治医と相談し、栄養、水分バランスも図り、支援している		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルを掲示し、予防、対応の話し合いをし取り組み、共有部分、手すり、トイレ等の消毒も行っている インフルエンザ予防注射も、同意を得て、利用者、職員共に、行っている		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	厨房にて衛生管理を徹底し管理に努めている 職員も同じ時間、同じ食事をし注意し、取り組んでいる		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や、敷地内に、花を多く生け、明るい雰囲気を出し、季節感を演出している 敷地内にベンチを置き、共有スペースを作り、気軽に話せる場も、提供している		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、季節の花を生け、季節ごとの音楽、菖蒲湯、ゆず湯等季節を感じられる、環境を作りをしている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下円形ベンチで過ごされる方、食堂、リビングにテーブルを置き、読書等し独りになれる時間を提供している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と話し合い、自宅で使用していた、家具、仏壇等を居室に置き、慣れ親しんだ環境を作り、利用者が安心して居心地よく過ごしてもらうよう配慮している		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天候、時期をみて、空気の入れ替え、外気温の差がでないよう常に配慮し、調整をおこなっている 乾燥時には、加湿器を使用している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有空間には、手すりを設置しており、安全に自立生活してもらうよう配慮している 車椅子の方でも、安全で安心して生活出来るよう、スペース、立ち上がりの際の手すりを設置している		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の状態を認識し、その都度、ケア対応について話し合い検討し自立して暮らして頂けるよう支援している		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	敷地内に、畑のスペースを確保し収穫や、全体的に花を生け、日常的に楽しんで活動できる環境を作っている		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家族には、月1回行事のお知らせや、生活の状況、状態を手紙を送り伝えている

面会時には、ケアについての相談、報告等をし説明、同意を得て信頼関係を築けるように努めている

主治医、看護師共に、利用者が安心して生活が送れるよう日々の心身の状態を、把握し連絡をとり、支持、助言を頂いている